

目次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	p. 1
① 学生の確保の見通し	p. 1
ア 定員充足の見込み	p. 1
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	p. 4
② 学生確保に向けた具体的な取組状況	p. 8
(2) 人材需要の動向等社会の要請	p. 9
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	p. 9
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	p. 9

学生の確保の見通し等を記載した書類

－金沢学院大学スポーツ科学部－

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

スポーツ科学部スポーツ科学科は、現在の人間健康学部スポーツ健康学科を一つの学部学科として独立させるものであり、学生募集活動も従来実施してきたものを踏襲する予定である。従って、その受験者層は人間健康学部スポーツ健康学科と大きく変わらないと考える。これより、以下では人間健康学部スポーツ健康学科の過去の実績及び今年度の志願状況を用い、スポーツ科学部の定員充足見込みについて述べる。

人間健康学部スポーツ健康学科では、資料1のように、平成27年度に志願者が164人、入学者が112人であったものが、平成28年には志願者が169人（前年比5人増）、入学者が121人（前年比9人増）と増加傾向にあった。これは、100人より120人に入学定員増を行った平成29年以降も継続しており、平成29年度には志願者が189人（前年比20人増）、入学者が124人（前年比3人増）、平成30年度には志願者が183人（前年比6人減）となったものの入学者は132人（前年比8人増）となり、平成31年には志願者が227人（前年比44人増）、入学者が153人（前年比21人増）となり増加傾向が継続している。令和2年度の学生募集に対して、令和2年度では志願者が284人（57人増）、入学者が177人（24人増）であり、増加傾向が継続していることが確認できる。

今般のスポーツ科学部スポーツ科学科の届出設置における入学定員数設定の根拠は、以下のように考える。平成27年度から令和2年度の受験者は年度によって多少の差異はあるが平均で201.2人、受験者前年度比は112.1%、また合格率は91.2%、歩留り率は75.1%となっている（資料1参照）。ここで、令和3年度の入学定員数を設定するにあたり、令和2年度受験者数、令和3年度予想合格率、過去6年の平均歩留り率を用いて、令和3年度の入学者数を表1-1のように推定する。令和2年度の受験者数が281人であり、これは令和3年度も維持できると考える。人間健康学部スポーツ健康学科の入学定員が120人である今年度の合格率は82.9%、入学者は177人となり、入学定員充足率は147.5%となった。今般の学科改組により入学定員を120人としてことで、令和2年度と同様な入学試験が実施できれば、過去6年と比べて成績上位層の合格者が多くなることから歩留り率が低下し67.0%になると想定すると、入学定員に対する適正な入学者の受入が可能になると考える。

(表 1-1 スポーツ科学部スポーツ科学科 令和 3 年度入学者数推定値)

	志願者	受験者	合格率	合格者	歩留り率	入学者	参考)過去 6 年 平均合格率
令和 2 年度	284	281 人	82. 9%	233 人	77. 0%	177 人	91. 2%
令和 3 年度 (推定)	284	281 人	82. 9%	232 人	67. 0%	156 人	

人間健康学部スポーツ健康学科の受験者が増加傾向にあることは、表 1-2 にあるとおり平成 27 年度に受験者が 163 人であったものが令和 2 年度に 281 人へと 1.73 倍になっていることに端的に表れている。この増加傾向が主にどの入試区分の受験生により作られているかが、資料 1 から読み取れる。同様の数値が、エントリー入試区分では 1.60 倍、推薦入試では 1.48 倍、一般入試では 1.74 倍、そしてセンター試験利用入試では 2.45 倍となっている。これらの数値より、人間健康学部スポーツ健康学科の受験者増は、影響の大きい順に、センター試験利用入試、一般入試、エントリー入試、推薦入試での受験生となっており、推薦入試の受験生の影響は一番小さいことが分かる。これは前述と同様に、人間健康学部スポーツ健康学科の受験生数が単純に増えているだけではなく、その受験生の学力も同時に上昇傾向にあることを示しており、この傾向が今後も継続する証左であると考える。

(表 1-2 人間健康学部スポーツ健康学科 入試区分別 平成 27 年度から令和 2 年度への受験者数の変化)

受験区分	エントリー 入試	推薦入学 (附属高校)	一般入試	センター 利用入試	合計
平成 27 年度	79 人	31 (0) 人	31 人	22 人	163 人
令和 2 年度	127 人	46 (8) 人	54 人	54 人	281 人
伸び率(倍)	1.60	1.48 (-)	1.74	2.45	1.73

表 1-1 では、令和 3 年度の受験者動向が令和 2 年度と同程度と仮定しているが、これは人間健康学部スポーツ健康学科から続いている増加傾向より自然な仮定だと考える。今後、アドミッション・ポリシーに沿った合格審査により入学者数を適正に管理することによって、入学定員 120 人を十分に満たすことができると考える。前述の「設置の趣旨等を記載した書類」にあるように、社会の要請を受け新たにスポーツ科学部スポーツ科学科を設置するにあたり、適切な定員管理に努める一方、地元高校との良好な関係を維持し大学経営の基盤安定を図り、アドミッション・ポリシーに適う学ぶ意欲のある優秀な学生を積極的かつ安定的に受け入れるためにも、その入学定員を 120 人とすることには妥当性があると考える。

そのため、令和 3 年 4 月より開設するスポーツ科学部スポーツ科学科の入学定員を、改組前の人間健康学部スポーツ健康学科と同じく 120 人としたい。

(資料 1 人間健康学部スポーツ健康学科 入学志願状況の推移)

○既設大学等の状況について

令和 2 年 4 月 20 日時点において、平成 30 年 4 月に新たに設置した短期大学幼児教育学科が定員充足率 0.7 倍を下回る結果となった。

幼児教育学科においては、保育士資格取得を卒業要件とし、併せて幼稚園教諭二種免許状を取得できるカリキュラムのもと学生募集を展開し、幼児教育学科が掲げたこれらの特色をオープンキャンパスなどの活動を通じて PR してきたが、他校との違いを明確に打ち出せなかつたこともあり、開設初年度である平成 30 年度は入学定員 50 人に対し入学者 31 人と振るわなかつた。

この初年度の結果は、2 年目である平成 31 年度に回復が見られた（表 2）。具体的には、学生募集活動は関係する教職員が一丸となり早い段階から積極的に学校訪問を行い、その結果、表 2 のように短期大学幼児教育学科の志願者が 63 人（17 人増）、入学者が 34 人（3 人増）となつた。この数値は、本学のオープンキャンパスの参加者により裏付けられる。短期大学幼児教育学科への参加者は、平成 29 年度は 154 人だったのに対して、平成 30 年度は 188 人と 34 人増であった。この数字が線形的に志願者や入学者と結びつくわけではないが、本学の積極的な学生募集活動が定員充足率の回復に大きく貢献しているのは間違ひなかつたと考える。

しかし、この増加傾向は令和 2 年度へと継続することは難しく、志願者は 40 人（初年度より 6 名減）、入学者が 24 人（初年度より 7 名減）と初年度を下回る結果となつた。ただし、平成 31 年度のオープンキャンパス参加者は 174 人であり平成 30 年より 14 人減であるが、一方で初年度より 20 人増となっている。

短期大学幼児教育学科の志願者減は、全国的な傾向として捉えられるものと考える。学校基本調査によると、私立短期大学の志願者は平成 26 年度の 10 万人から平成 31 年度の 7 万 3 千人へと 0.75 倍となるなかで、幼児教育の志願者は 3 万人から 2 万人へと 0.69 倍となっている。また、日本私立大学振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、私立短期大学の志願者においても同時期で 0.78 倍となるなかで、幼児教育系の志願者は 0.66 倍となり、やはり私立短期大学のなかでも幼児教育系の志願者に関して厳しい状況となつてゐる。

しかし一方で、北陸 3 県の幼児教育課程を持つ私立短期大学では、平成 31 年度にて本学を除く 4 校のうち 2 校が定員を満たしている。これは、北陸地方においては未だ保育者養成課程に需要があることを示していると考える。今後、厳しい経済状況下で共働きが増える社会環境の中にあって、幼稚園教諭及び保育士という保育者養成施設の果たす役割は大きいと考え、今後、大学文学部教育学科の保育者養成課程との連携を深め、これまで以上に積極的な学生募集活動を行い、定員充足を目指すこととしたい。

(表2 開設年度以降の志願者・合格者・入学者の推移)

学部・学科名		平成30年度	平成31年度	令和2年度	増減
短期大学 幼児教育学科	募集定員	50	50	50	—
	志願者	46	63	40	△6
	入学者	31	34	24	△7

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

まず、高校2年生を対象とした、スポーツ科学部スポーツ科学科への進学希望調査アンケートについて述べる（詳細は資料2）。この調査は、北陸3県と新潟県の高校へ依頼する形で実施し、そのうち95校9,490人より回答が得られた。アンケートでは、大学進学希望者に対して、進学希望分野を「経済学関係」「経営学関係」「体育学・スポーツ科学関係」及び「家政学（栄養、調理を含む）・生活科学関係」から選んだ者に対して、それぞれ本学の対応する学科への進学を希望するかを調査している。その結果、「体育学・スポーツ科学関係」を進学先とした者の中で本学スポーツ科学部スポーツ科学科への進学を希望すると回答したものは36人、進学先として検討すると回答した者は115人であった（表3）。

これらより、令和3年度の入学者数を次の表3のように推定する。

スポーツ科学部スポーツ科学科の場合、進学を希望する36人は推薦入試などにより全員、本学科に入学するものとする。また、進学先として検討する115人は一般入試やセンター利用入試などにより本学科を受験合格し、今年度の人間健康学部スポーツ健康学科の入学手続き者における入学率98.3%（113人）が入学すると考えると、北陸3県と新潟県からの入学者は149人と見込まれる。スポーツ科学部スポーツ科学科の前身となる人間健康学部スポーツ健康学科の特徴として、北陸3県及び新潟県からの入学者が、平成29年度より31年度までの3年間で60.8%と他学科に比べて極端に低いことが挙げられる（資料3）。これより、これらの県以外の入学者も併せると令和3年度の全入学者は245人となると推定される。

(表3 アンケート調査による本学科への入学者数の推定1)

	スポーツ科学部 スポーツ科学科
① 進学を希望する（人）	36
② 進学先として検討する（人）	115
③ 令和2年度の入学手続き者における入学率	98.3%
①の全員、及び②に③を掛けた者が入学するとした場合の 北陸3県と新潟県からの入学者	149
北陸3県と新潟県からの入学者割合	60.8%
入学者数（人）	245

また、今回、アンケートに回答した者の北陸3県及び新潟県の割合より、高校2年生全員にアンケートを取った場合の入学者の推定を行う。表3の①と②の北陸3県及び新潟県における回答者の人数は、表4の1)～8)のようになる。また、学校基本調査より、今回のアンケート回答者の北陸3県及び新潟県の高校2年生に占める割合は、表4に記載されているとおりである。これらの数値より、北陸3県及び新潟県の高校2年生全員にアンケートを取った場合、表3の①と②に対応する数は、表4の①と②のように推定され、上述と同じ考察を行うと、スポーツ科学部スポーツ科学科の入学者数は表4のように644人と推定される。

(表4 アンケート調査による本学科への入学者数の推定2)

	スポーツ科学部 スポーツ科学科
1) 石川県で進学を希望する (人)	24
2) 富山県で進学を希望する (人)	10
3) 福井県で進学を希望する (人)	2
4) 新潟県で進学を希望する (人)	0
5) 石川県で進学先として検討する (人)	60
6) 富山県で進学先として検討する (人)	38
7) 福井県で進学先として検討する (人)	9
8) 新潟県で進学先として検討する (人)	8
石川県におけるアンケート回答者の割合	46.9%
富山県におけるアンケート回答者の割合	27.4%
福井県におけるアンケート回答者の割合	10.2%
新潟県におけるアンケート回答者の割合	5.9%
① 進学を希望する (人)	106
② 進学を検討する (人)	291
③ 令和2年度の入学手続き者における入学率	98.3%
①の全員、及び②に③を掛けた者が入学するとした場合の 北陸3県と新潟県からの入学者	392
北陸3県と新潟県からの入学者割合	60.8%
入学者数 (人)	644

(資料2 進学希望アンケート調査)

(資料3 人間健康学部スポーツ健康学科への志願者数／入学者数 (過去5年間))

次に、前節で本学内の実績を用いて示した定員充足の見込みを、北信越及び全国のデータを用いることにより、学科別に多角的に分析する。

前節では、定員充足の見込みを現在の人間健康学部スポーツ健康学科の過去の実績を用いて示した。その理由は、新しく設置しようと考えているスポーツ科学部スポーツ科学科の学生募集活動は従来通りに実施する予定であることより、受験者層に大きな変化はないと考えるからであった。ここでは、本学がある北信越および全国の入学志願状況の推移により、前述にある本学内の数値による根拠に、より具体性を持たせる。

まず、人間健康学部スポーツ健康学科への志願者および入学者について、出身高等学校が所在

する都道府県別に比較すると、資料 3 のように石川県、富山県、福井県の北陸地区で特に顕著であることが分かる。これは、本学科が地域に根付き地域から期待される教育機関としての評価が定着した結果であり、人間健康学部スポーツ健康学科を発展的に解消（廃止）して新たにスポーツ科学部スポーツ科学科を届出設置することにより、前述の「設置の趣旨等を記載した書類」にあるように、この傾向は今後も継続することが予想される。

その客観的な根拠となるのは、本学人間健康学部スポーツ健康学科の入学志願状況の推移に加えて、北信越におけるスポーツ系学部・学科の入学志願状況（資料 4）である。新たに設置する予定のスポーツ科学部と競合すると考えられる、北信越の私立大学におけるスポーツ系の学部の入学状況は、県別に見ると表 5 のようにまとめられ（詳細は資料 4 を参照）、本学スポーツ科学部と競合校となる北陸の私立大学、および近隣の県における私立大学いずれにおいても、スポーツ系の学部には志願者及び入学者ともに増加傾向が見られる。従って、これまで志願者及び入学者ともに増加傾向にあった人間健康学部スポーツ健康学科を引きつぐ形で設置する本学スポーツ科学部スポーツ科学科においても、同様の傾向が期待できる。なお、資料 4においては、恣意的なデータ操作とならないよう入手可能なデータを全て掲載したため、定員充足率が 100%に満たない大学も含まれている。

（表 5 北信越におけるスポーツ系の学部・学科の志願者・入学者の推移）

県名		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	伸び率
石川県	志願者（人）	183	209	196	225	1.23
	入学者（人）	79	78	75	78	0.99
長野県	志願者（人）	196	251	210	324	1.65
	入学者（人）	103	100	109	124	1.20
新潟県	志願者（人）	-	371	372	413	1.11
	入学者（人）	216	219	209	221	1.02

この志願者および入学者の増加傾向は、全国的な傾向としても裏付けされる。学校基本調査における「関係学科別大学入学状況」には、スポーツ科学の分類が存在しない（教育区分の中に体育学という区分があるが、スポーツ科学部とは異なると考える）ため、ここでは日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」における主な学部別の志願者・入学者動向（大学）を客観的根拠データとする。資料 5 にあるように、全国的なデータにおいても、今般設置を計画しているスポーツ科学関係学部に増加傾向が見られる。

このような全国的、及び北陸地域の増加傾向のもと、本学人間健康学部スポーツ健康学科の入学志願状況の推移を客観的に勘案した結果、人間健康学部スポーツ健康学科を発展的に解消（廃止）し新たにスポーツ科学部スポーツ科学科を届出設置することとし、その入学定員を 120 人としたい。なお、同時に人間健康学部健康栄養学科も発展的に解消（廃止）し新たに栄養学部栄養

学科を届出設置する計画であるが、その入学定員は厚生労働省の指導の下にあることより 80 人から変更しないこととする。

以上より、全国、北陸及び近隣地域、そして本学の志願者増加傾向を鑑み、今般新たに設置するスポーツ科学部スポーツ科学科の入学定員を 120 人と設定しても、前述の内部データからの推定、及びアンケート調査結果と併せ、今後の定員充足が十分に見込めると結論付けられる。

(資料 3 人間健康学部スポーツ健康学科への志願者数／入学者数（過去 5 年間）)

(資料 4 北信越におけるスポーツ系学部・学科の入学状況)

(資料 5 私立大学・短期大学入学志願動向による全国的な志願者数、入学者数の推移)

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

健康寿命の延伸が叫ばれる社会情勢のもと、運動と栄養の両面より健康増進を図る重要性から、その人材を担うスポーツ健康学科と健康栄養学科からなる人間健康学部においては、両学科の連携を深め、相互交流できる協力体制のもと学部運営を行ってきた。しかし、スポーツ分野および栄養分野におけるそれぞれの専門性の高度化により、両分野の学問領域が多岐・広範に渡るようになった。実際、スポーツ健康学科の卒業後の就職先は、アスリート、スポーツ指導員、体育教員、公安・公務員、スポーツ産業等であり、健康栄養学科のそれとは大きく異なっている。この乖離を解消すべく、両学科の学びを学部学科名称により受験生や地域社会によりアピールすることが今回、スポーツ科学部スポーツ科学科及び栄養学部栄養学科を設置する目的である。

新しく設置を計画しているスポーツ科学部スポーツ科学科においては、スポーツの自然・社会科学の理論を総合的に理解し、指導力、実践力、およびマネジメント能力を兼ね備えた人材を育成することを養成する人材像とし、従来から行ってきているオープンキャンパスや高校への出張講座等を踏襲しつつ、東京オリンピックに出場予定の本学学生の存在を受験生や地域社会にアピールすることにより、さらに効果的な学生募集活動を行う予定である。

○既設大学等の状況について

前述の通り、令和 2 年 4 月 20 日時点において、平成 30 年 4 月に設置した短期大学幼児教育学科においては、積極的に高校訪問を行い PR 活動を実施してきたが定員充足率 0.7 倍を下回る結果となった。

幼児教育学科においては、2 年目となる平成 30 年度の学生募集においては、近隣の高校に対して学科の学修内容の周知を図り、入学定員確保に向けた学生募集に努めており、定員充足率は回復傾向が見られた。それは、前述のようにオープンキャンパスの参加者が平成 29 年度は 154 人だったのに対して、平成 30 年度は 188 人と 34 人増であったことに表れている。

平成 31 年度の学生募集においても、前年度と同様に積極的に活動を行ったものの残念ながら結果に結びつけられず、定員充足率が初年度を下回るものとなってしまった。前述のように、この傾向は全国の短期大学幼児教育課程を持つ学科に共通して見られる傾向であるが、北陸におい

では定員を満たしている私立短期大学が存在することより、保育者養成課程に対する需要は見込めると考える。設立3年目を迎える本学科は、まず、北陸において最も遅く保育者養成課程に参入したという不利な状況を冷静に分析しつつ、今後、厳しい経済状況下で共働きが増える社会環境の中にあって、幼稚園教諭及び保育士という保育者養成施設の果たす社会的役割の大きさを踏まえ、今後、大学文学部教育学科の保育者養成課程との連携を深める。そして、全学的に機能を強化された「教職センター」との連携も強め、これまで以上に積極的な学生募集活動を行い、学生が保育者となるサポート体制を強化することにより本学科の存在を地域へ広め、定員充足率の回復に努める。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

スポーツ科学部では、幼児から高齢者まで多くの国民が生活の質（QOL）の向上を目指し生涯にわたってスポーツに親しみスポーツ文化を享受・形成する時代となったことを鑑み、スポーツの機能として、心身両面にわたる健康増進・青少年の健全育成・地域コミュニティの醸成・経済発展への寄与・活力ある健全な社会の育成・国際交流への貢献など社会の多様なニーズに応えるために、スポーツの自然・社会科学の理論を総合的に理解し、指導力・実践力およびマネジメント能力を兼ね備えた人材を育成する。そして、教育研究上の目的を次のように設定する。競技力の向上を図るアスリートや、健康増進を図る地域のスポーツ愛好者のための最先端のトレーニング法や健康づくり法などの総合的な能力を身に付けるために、スポーツ科学を理論と実践の両面から学ぶ。それを通じて、スポーツに深くかかわり貢献できる、次代を担う人材を育成する。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

スポーツ科学部スポーツ科学科が輩出する人材が、社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な証拠としては、その前身となる人間健康学部スポーツ健康学科の卒業生の就職状況が挙げられる。

「資料6 人間健康学部スポーツ健康学科 最近5カ年の就職状況」にあるとおり、人間健康学部スポーツ健康学科新卒者の過去5年間の就職率は、平成28年3月卒が100.0%、平成29年3月卒が98.2%、平成30年3月卒が99.0%、平成31年3月卒が100.0%、令和2年3月卒では100.0%（令和2年3月31日時点）であり、丁寧な出口指導を行っている。

「資料7 人間健康学部スポーツ健康学科 令和2年3月卒業生の業種別就職状況」においては、就職者109人に対して、地元企業を中心とする「卸売・小売業」への就職者がトップで24%（26人）、「サービス業」が21%（23人）、「製造業」が12%（13人）となっている。

これら就職状況に示されるように、人間健康学部スポーツ健康学科の人材育成の方向性は、学部の特長を生かしながら、地域社会のニーズに十分応えていると考えることができる。人間健康

学部スポーツ健康学科を発展的に解消（廃止）し、新たに設置するスポーツ科学部スポーツ科学科においては、学科名称が表す明確な学びを基礎として、従来の人間健康学部スポーツ健康学科を発展させた形での人材育成を実施し、よりいっそう地域の人材需要に応えることができるものと考える。

（資料6 人間健康学部スポーツ健康学科 最近5カ年の就職状況）

（資料7 人間健康学部スポーツ健康学科 令和2年3月卒業生の業種別就職状況）

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

資料 1 人間健康学部スポーツ健康学科 入学志願状況の推移

資料 2 進学アンケート調査

資料 3 地域別人間健康学部スポーツ健康学科への志願者数/入学者数（過去 5 年間）

資料 4 北信越におけるスポーツ系学部・学科の入学志願状況

資料 5 私立大学・短期大学等入学志願動向による全国的な志願者数、入学者数の推移

資料 6 人間健康学部スポーツ健康学科 最近 5 カ年の就職状況

資料 7 人間健康学部スポーツ健康学科 令和 2 年 3 月卒業生の業種別就職内定状況

資料 1

人間健康学部スポーツ健康学科 入学志願状況の推移

年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	平均
入学定員（人）	100	100	120	120	120	120	—
志願者（人）	164	169	189	183	227	284	202.7
受験者（人）	163	166	188	183	226	281	201.2
エントリー入試（人）	79	80	89	90	123	127	98.0
推薦入試（人） (附属高校(人))	31 (0)	37 (8)	24 (7)	33 (8)	28 (5)	46 (8)	33.2 (6.0)
一般入試（人）	31	17	44	31	34	54	35.2
センター試験利用入試（人）	22	32	31	29	41	54	34.8
志願者前年度比（%）	—	103.0	111.8	96.8	124.0	125.1	112.2
受験者前年度比（%）	—	101.8	113.3	97.3	123.5	124.3	112.1
合格者（人）	156	154	169	177	201	233	181.7
入学者（人）	112	121	124	132	153	177	136.5
エントリー入試（人）	77	80	86	88	119	126	96.0
推薦入試（人） (附属高校(人))	24 (10)	31 (8)	21 (7)	29 (8)	20 (5)	37 (8)	27.0 (7.7)
一般入試（人）	9	8	12	12	5	12	9.7
センター試験利用入試（人）	2	2	5	3	9	2	3.8
合格率（%）	95.7	92.8	89.9	96.7	88.9	82.9	91.2
定員充足率（%）	112.0	121.0	103.3	110.0	127.5	147.5	120.2
歩留り率（%）	71.8	78.6	73.4	74.6	76.1	76.0	75.1

【資料2】

金沢学院大学における収容定員の変更（増加）及び改組に関する
アンケート調査報告書

【高校生対象】

令和2年3月

一般財団法人 日本開発構想研究所

目 次

<アンケート調査概要>	1
<回答者進学意向>	2
<アンケート回収表>	3
<アンケート集計結果>	7
単純集計	9
男女別クロス集計	20
<アンケート調査票>	27

<アンケート調査概要>

1. アンケート実施の目的

本調査は、「金沢学院大学 収容定員の変更（増加）及び改組に関するアンケート調査票」としてアンケート調査票を作成し、高校生に対して金沢学院大学が収容定員の変更（増加）及び改組を検討している学部学科への進学希望について尋ね、学生の確保の見通しを測ることを目的とする。

2. 調査対象

金沢学院大学の立地する石川県に加え、通学可能範囲の富山県、福井県、新潟県の高等学校に対して金沢学院大学より調査依頼を行い、令和元年度の高校2年生を対象にアンケートを実施した。

石川県から45校、富山県から28校、福井県から9校、新潟県から13校、合計95の高等学校からアンケートを回収した。

3. 調査実施

令和2年1月～令和2年3月

4. 調査方法

各高等学校に訪問により配布、郵送により回収

5. 回収状況

アンケート回収高校数：95校

アンケート回収枚数：9,490枚

<回答者進学意向>

高校生を対象とした「金沢学院大学 収容定員の変更（増加）及び改組に関するアンケート調査票」において、金沢学院大学が収容定員の変更（増加）及び改組を検討する学部学科へ、回答者の進学意向を問う問7の設問における進学希望者数は以下の通りである。

問7 あなたは問5で選択した分野に関する金沢学院大学の学科へ進学を希望しますか。問5で選択した分野に関する学科について、a～cの中から1つだけ選び、○で囲んでください。	実数			
	経済学部 経済学科	経済学部 経営学科	スポーツ科学部 スポーツ科学科	栄養学部 栄養学科
1 進学を希望する	54人	9人	36人	18人
2 進学先として検討する	236人	110人	115人	84人
合計	290人	119人	151人	102人

※問7の設問は、高校卒業後の進路を問う問3の設問において「1 大学進学」を選択した回答者の中から、問5の進学希望分野で「経済学関係」「経営学関係」「体育学・スポーツ科学関係」「家政学（栄養・調理含む）・生活科学関係」のいずれかを選択した回答者を集計の対象とする。

問7の設問の結果、経済学部経済学科へ「進学を希望する」「進学先として検討する」を選択した回答者の合計は290人、経済学部経営学科へ「進学を希望する」「進学先として検討する」を選択した回答者の合計は119人、スポーツ科学部スポーツ科学科へ「進学を希望する」「進学先として検討する」を選択した回答者の合計は151人、栄養学部栄養学科へ「進学を希望する」「進学先として検討する」を選択した回答者の合計は102人いることが明らかとなった。

<アンケート回収表>

金沢学院大学 収容定員の変更（増加）及び改組に関する
アンケート調査票 回収表

都道府県	高校 No	高校名	ナンバリング	回収数	回収日
富山県	1	富山県立上市高校	1	138	1. 30
石川県	2	石川県立金沢北陵高校	139	216	1. 31
石川県	3	石川県立七尾東雲高校	217	230	14
石川県	4	石川県立内灘高校	231	270	40
石川県	5	石川県立小松商業高校	271	336	66
富山県	6	富山県立雄山高校	337	475	139
石川県	7	石川県立田鶴浜高校	476	515	40
石川県	8	石川県立金沢向陽高校	516	551	36
石川県	9	石川県立羽咋高校	552	741	190
石川県	10	七尾高校	742	963	222
石川県	11	石川県立鹿西高校	964	1072	109
石川県	12	石川県立金沢商業高校	1073	1218	146
石川県	13	石川県立金沢錦丘高校	1219	1519	301
石川県	14	石川県立金沢西高校	1520	1670	151
石川県	15	金沢市立工業高校	1671	1727	57
石川県	16	石川県立津幡高校	1728	1847	120
石川県	17	石川県立小松工業高校	1848	1926	79
石川県	18	石川県立志賀高校	1927	1934	8
富山県	19	富山県立泊高校	1935	1973	39
福井県	20	福井商業高校	1974	2050	77
石川県	21	石川県立能登高校	2051	2088	38
石川県	22	金沢高校	2089	2300	212
富山県	23	富山県立新湊高校	2301	2415	115
石川県	24	石川県立大聖寺実業高校	2416	2427	12
石川県	25	小松市立高校	2428	2604	177
石川県	26	石川県立金沢桜丘高校	2605	2796	192
石川県	27	金沢伏見高校	2797	3052	256
富山県	28	富山県立富山南高校	3053	3121	69
石川県	29	石川県立穴水高校	3122	3131	10
石川県	30	石川県立輪島高校	3132	3224	93
富山県	31	富山北部高校	3225	3299	75
富山県	32	入善高校	3300	3374	75
富山県	33	高岡西高校	3375	3489	115
石川県	34	北陸学院高校	3490	3651	162
石川県	35	小松明峰高校	3652	3880	229
石川県	36	石川県立加賀高校	3881	3904	24
石川県	37	石川県立翠星高校	3905	3936	32
富山県	38	富山県立桜井高校	3937	4016	80
富山県	39	高岡第一高校	4017	4083	67
富山県	40	富山第一高校	4084	4156	73
富山県	41	龍谷富山高校	4157	4206	50
富山県	42	富山県立水橋高校	4207	4320	114
福井県	43	福井県立武生東高校	4321	4403	83
新潟県	44	高田北城高校	4404	4479	76
新潟県	45	新潟明訓高校	4480	4552	73
石川県	46	小松大谷高校	4553	4703	151
石川県	47	石川県立金沢中央高校	4704	4731	28
石川県	48	石川県立門前高校	4732	4765	34
石川県	49	石川県立宝達高校	4766	4777	12
石川県	50	石川県立工業高校	4778	4901	124
富山県	51	伏木高校	4902	5002	101

都道府県	高校 No	高校名	ナンバーリング	回収数	回収日
富山県	52	魚津高校	5003	5082	80 2.17
富山県	53	富山県立南砺福野高校	5083	5199	117 2.17
富山県	54	富山県立氷見高校	5200	5314	115 2.17
富山県	55	高岡向陵高校	5315	5394	80 2.17
富山県	56	高岡工芸高校	5395	5472	78 2.17
福井県	57	福井県立羽水高校	5473	5585	113 2.17
福井県	58	啓新高校	5586	5612	27 2.17
福井県	59	福井県立足羽高校	5613	5645	33 2.17
福井県	60	丸岡高校	5646	5754	109 2.17
新潟県	61	関根学園高校	5755	5812	58 2.17
富山県	62	志貴野高校	5813	5847	35 2.18
福井県	63	北陸高校	5848	5988	141 2.18
新潟県	64	新潟第一高校	5989	6101	113 2.18
新潟県	65	日本文理高校	6102	6233	132 2.18
石川県	66	石川県立鶴来高校	6234	6330	97 2.19
富山県	67	大門高校	6331	6437	107 2.19
富山県	68	富山県立南砺福光高校	6438	6508	71 2.19
富山県	69	石動高校	6509	6619	111 2.19
富山県	70	富山いずみ高校	6620	6765	146 2.19
富山県	71	富山県立高岡商業高校	6766	6845	80 2.20
福井県	72	福井県立大野高校	6846	6875	30 2.20
新潟県	73	北越高校	6876	6932	57 2.20
石川県	74	石川県立羽咋工業高校	6933	6961	29 2.21
石川県	75	石川県立金沢二水高校	6962	7144	183 2.21
石川県	76	遊學館高校	7145	7308	164 2.21
富山県	77	富山県立新川みどり野高校	7309	7333	25 2.21
新潟県	78	新潟県立糸魚川高校	7334	7399	66 2.21
新潟県	79	新潟県立十日町高校	7400	7472	73 2.21
石川県	80	鵬学園高校	7473	7565	93 2.25
富山県	81	富山県立富山西高校	7566	7706	141 2.25
新潟県	82	東京学館新潟高校	7707	7904	198 2.25
新潟県	83	新潟県立巻高校	7905	7980	76 2.25
石川県	84	金沢辰巳丘高校	7981	8055	75 2.26
富山県	85	富山県立滑川高校	8056	8135	80 2.26
石川県	86	石川県立飯田高校	8136	8243	108 2.27
石川県	87	大聖寺高校	8244	8395	152 2.28
福井県	88	三国高校	8396	8539	144 2.28
石川県	89	星稜高校	8540	8779	240 3.2
石川県	90	石川県立松任高校	8780	8894	115 3.2
新潟県	91	新発田南高校	8895	8981	87 3.2
新潟県	92	上越高校	8982	9026	45 3.2
新潟県	93	新潟県立新津高校	9027	9060	34 3.3
石川県	94	金沢学院高校	9061	9340	280 3.3
石川県	95	石川県立寺井高校	9341	9490	150 3.3
合計					9,490 枚 95 校

＜アンケート集計結果＞

金沢学院大学 収容定員の変更（増加）及び改組に関する

アンケート調査票 単純集計

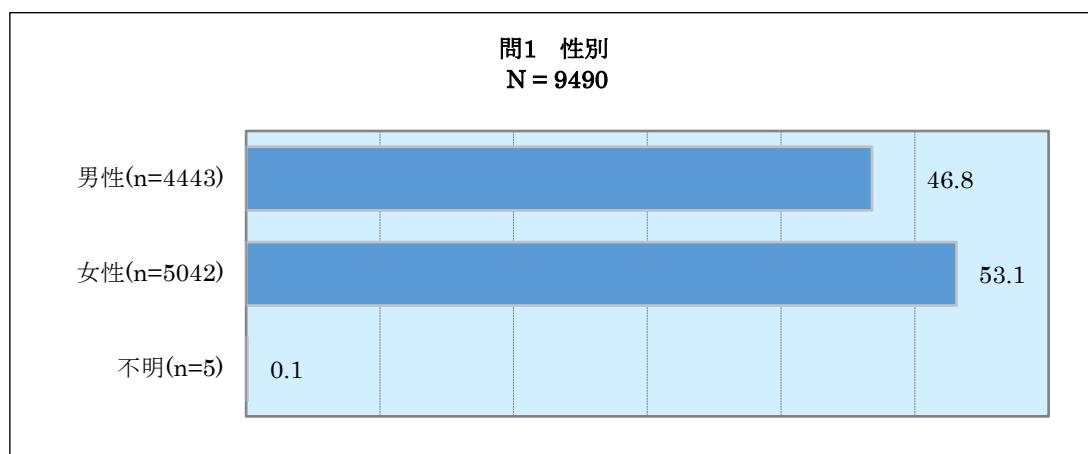
〔有効回答票：9,490 票〕

※「%」はいずれも小数点第二位を四捨五入

問1 あなたの性別についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

回答者（9,490人）の性別については、5,042人（53.1%）が「女性」、4,443人（46.8%）が「男性」である。

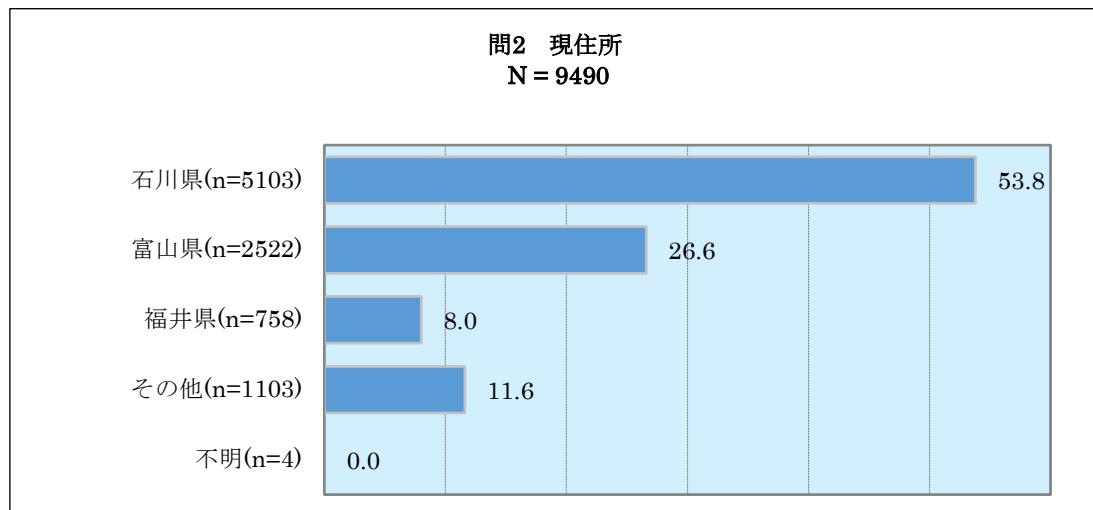
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	4,443	46.8
2	女性	5,042	53.1
	不明	5	0.1
	合計	9,490	100



問2 あなたがお住いの都道府県についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

回答者のうち、5,103人(53.8%)が「石川県」、2,522人(26.6%)が「富山県」、758人(8.0%)が「福井県」在住である。その他の中では、「新潟県」が915人となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	石川県	5,103	53.8
2	富山県	2,522	26.6
3	福井県	758	8.0
4	その他	1,103	11.6
	不明	4	0.0
	合計	9,490	100



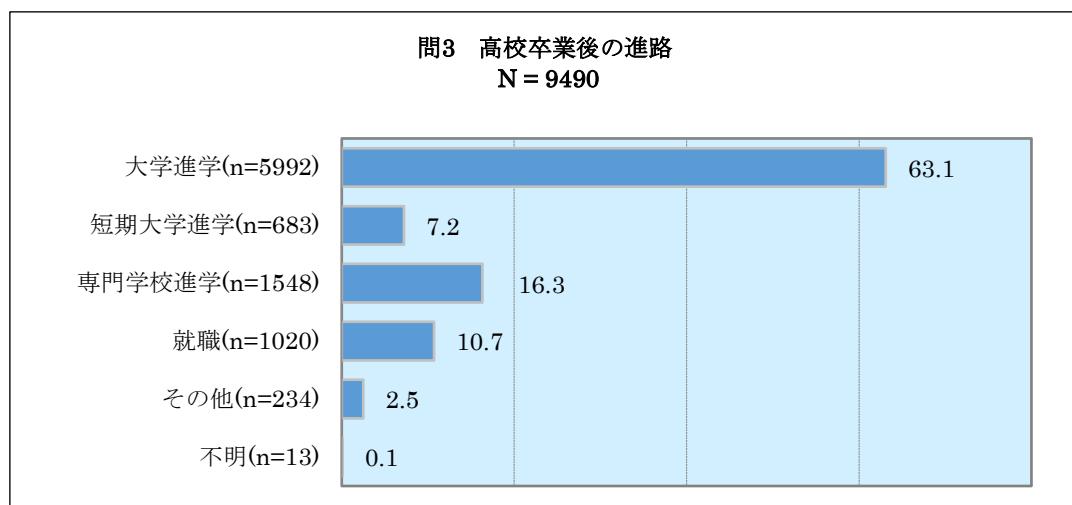
「4 その他」の回答

回答	件数	回答	件数
新潟県	915	長野県	2
愛知県	7	青森県	1
神奈川県	3	千葉県	1
大阪府	3	滋賀県	1
群馬県	2	兵庫県	1
埼玉県	2	島根県	1
東京都	2		

問3 あなたの進路についておたずねします。あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

回答者の希望進路については、「大学進学」が5,992人(63.1%)と最も多く、次いで「専門学校進学」が1,548人(16.3%)、「就職」が1,020人(10.7%)、「短期大学進学」が683人(7.2%)の順に続いている。

No	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学進学	5,992	63.1
2	短期大学進学	683	7.2
3	専門学校進学	1,548	16.3
4	就職	1,020	10.7
5	その他	234	2.5
	不明	13	0.1
	合計	9,490	100



【問4以降は、問3で「1 大学進学」を選択した5,992人の回答者を対象とする。】

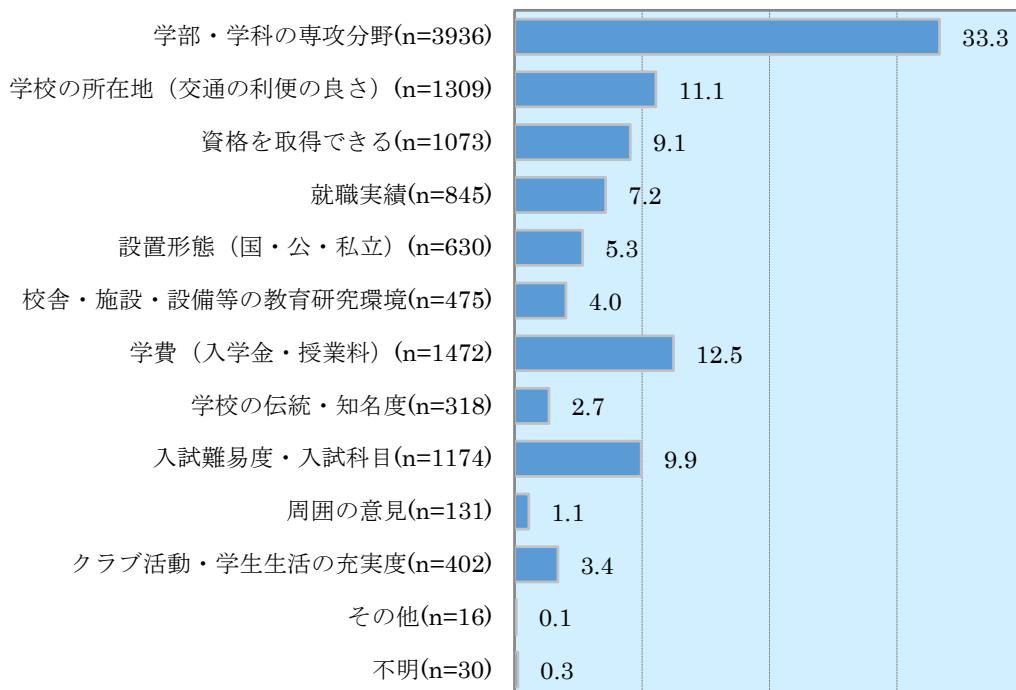
問4 あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。次の中から2つまで選んでください。(複数回答)

回答者が進学先を決定する際に重視する事柄については、「学部・学科の専攻分野」が3,936人(33.3%)と最も多く、次いで「学費(入学金・授業料)」が1,472人(12.5%)、「学校の所在地(交通の利便の良さ)」が1,309人(11.1%)の順に続いている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	学部・学科の専攻分野	3,936	33.3
2	学校の所在地(交通の利便の良さ)	1,309	11.1
3	資格を取得できる	1,073	9.1
4	就職実績	845	7.2
5	設置形態(国・公・私立)	630	5.3
6	校舎・施設・設備等の教育研究環境	475	4.0
7	学費(入学金・授業料)	1,472	12.5
8	学校の伝統・知名度	318	2.7
9	入試難易度・入試科目	1,174	9.9
10	周囲の意見	131	1.1
11	クラブ活動・学生生活の充実度	402	3.4
12	その他	16	0.1
	不明	30	0.3

(複数回答のため合計=5,992にならない)

問4 進学先決定の際に重視すること（複数回答）



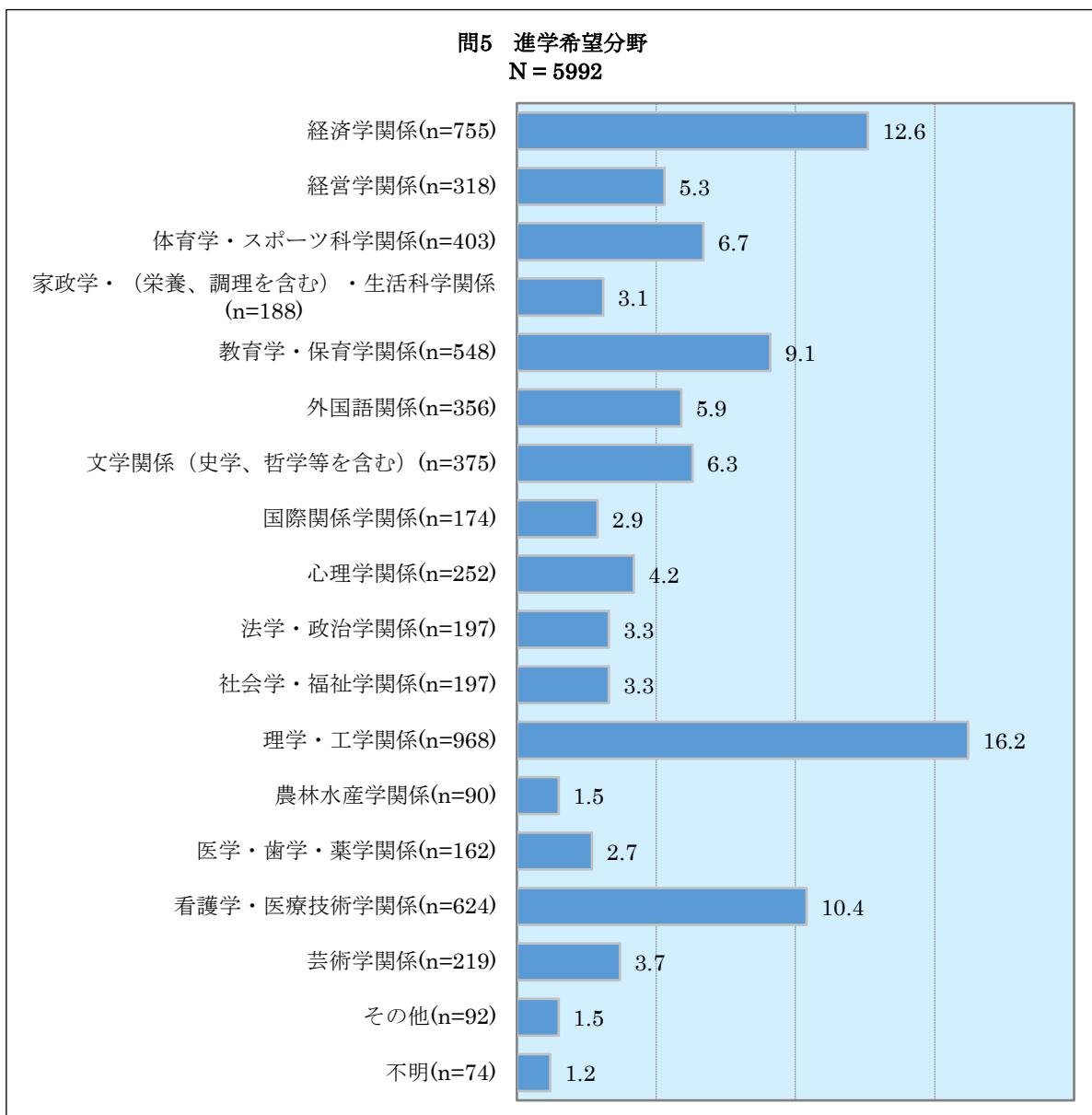
「12 その他」の回答

回答	回答
地域のイベント	やりたい仕事に関するこ
留学制度	夢
土地	偏差値
場所	教授
男子のクオリティ	知名度
国	教授、教員の良さ

問5 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

回答者が進学を希望する分野は、「理学・工学関係」が968人(16.2%)と最も多く、次いで「経済学関係」が755人(12.6%)、「看護学・医療技術学関係」が624人(10.4%)となっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	経済学関係	755	12.6
2	経営学関係	318	5.3
3	体育学・スポーツ科学関係	403	6.7
4	家政学・(栄養、調理を含む)・生活科学関係	188	3.1
5	教育学・保育学関係	548	9.1
6	外国語関係	356	5.9
7	文学関係(史学、哲学等を含む)	375	6.3
8	国際関係学関係	174	2.9
9	心理学関係	252	4.2
10	法学・政治学関係	197	3.3
11	社会学・福祉学関係	197	3.3
12	理学・工学関係	968	16.2
13	農林水産学関係	90	1.5
14	医学・歯学・薬学関係	162	2.7
15	看護学・医療技術学関係	624	10.4
16	芸術学関係	219	3.7
17	その他	92	1.5
	不明	74	1.2
	合計	5,992	100



「17 その他」の回答

回答	件数	回答	件数	回答	件数
未定	14	AI またはゲーミング関係	1	人文	1
情報関係	5	PC 関係	1	政策学関係	1
観光学関係	4	医療関係	1	畜産	1
建築関係	4	映像	1	電子情報	1
服飾関係	3	音楽	1	動物看護学	1
メディア関係	3	航空	1	都市デザイン	1
リハビリ関係	3	コミュニケーション系	1	美容	1
工学関係	2	獣医学	1	仏教	1
地域社会関係	2	食マネジメント	1	保育、教育	1

【問6以降は、問5で「1、2、3、4」のいずれかを選択した回答者を対象とする。】

問6 あなたは金沢学院大学への受験（一般入試、推薦入試、AO入試、内部進学を含む）を希望しますか。問5で選択した分野に関する学科について、a～cの中から1つだけ選び、○で囲んでください。

問5で「1 経済学関係」を選択した回答者の「経済学部経済学科」への受験意向は、「受験を希望する」が82人(10.9%)、「受験先として検討する」が249人(33.0%)となっており、合計すると331人(43.9%)となっている。

問5で「2 経営学関係」を選択した回答者の「経済学部経営学科」への受験意向は、「受験を希望する」が14人(4.4%)、「受験先として検討する」が115人(36.2%)となっており、合計すると129人(40.6%)となっている。

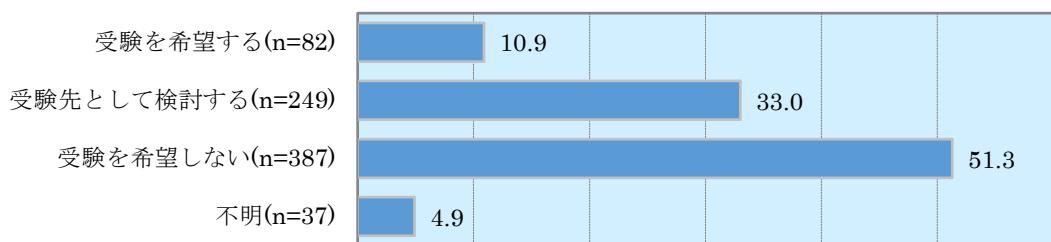
問5で「3 体育学・スポーツ科学関係」を選択した回答者の「スポーツ科学部スポーツ科学科」への受験意向は、「受験を希望する」が44人(10.9%)、「受験先として検討する」が123人(30.5%)となっており、合計すると167人(41.4%)となっている。

問5で「4 家政学・(栄養、調理を含む)・生活科学関係」を選択した回答者の「栄養学部栄養学科」への受験意向は、「受験を希望する」が21人(11.2%)、「受験先として検討する」が90人(47.9%)となっており、合計すると111人(59.1%)となっている。

No	カテゴリ	上段：件数、下段：（全体）%			
		経済学部 経済学科	経済学部 経営学科	スポーツ科学部 スポーツ科学科	栄養学部 栄養学科
1	受験を希望する	82	14	44	21
		10.9	4.4	10.9	11.2
2	受験先として検討する	249	115	123	90
		33.0	36.2	30.5	47.9
3	受験を希望しない	387	173	207	70
		51.3	54.4	51.4	37.2
	不明	37	16	29	7
		4.9	5.0	7.2	3.7
	合計	755	318	403	188
		100	100	100	100

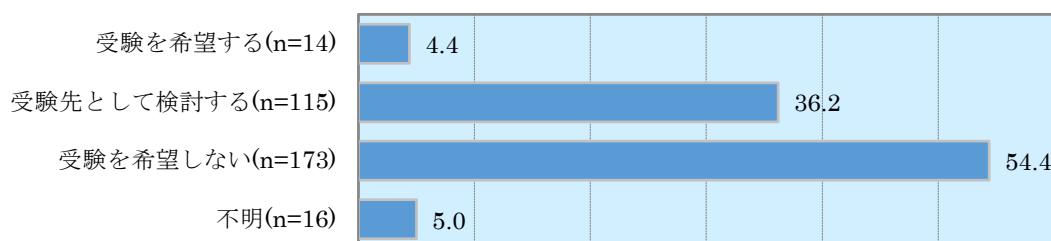
問6-1 経済学部経済学科への受験希望

N = 755



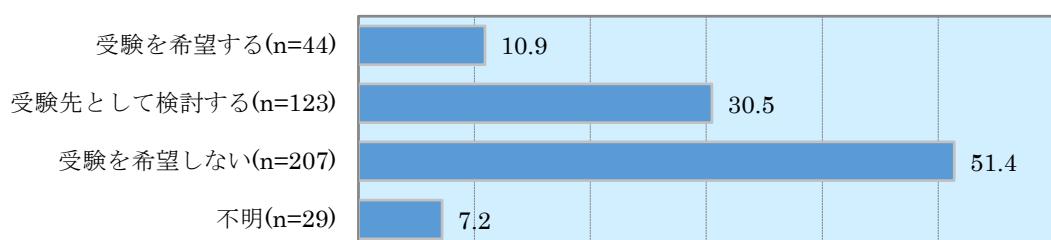
問6-2 経済学部経営学科への受験希望

N = 318



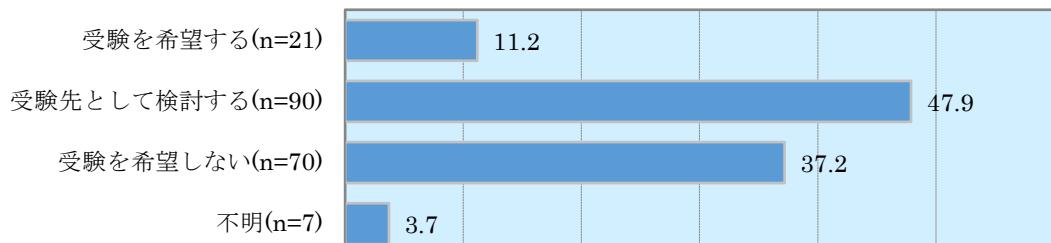
問6-3 スポーツ科学部スポーツ科学科への受験希望

N = 403



問6-4 栄養学部栄養学科への受験希望

N = 188



問7 あなたは問5で選択した分野に関する金沢学院大学の学科へ進学を希望しますか。
問5で選択した分野に関する学科について、a～cの中から1つだけ選び、○で囲んでください。

問5で「1 経済学関係」を選択した回答者の「経済学部経済学科」への進学意向は、「進学を希望する」が54人(7.2%)、「進学先として検討する」が236人(31.3%)となっており、合計すると290人(38.4%)となっている。

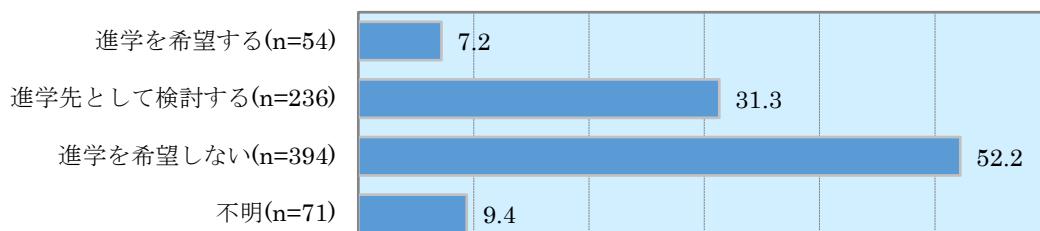
問5で「2 経営学関係」を選択した回答者の「経済学部経営学科」への進学意向は、「進学を希望する」が9人(2.8%)、「進学先として検討する」が110人(34.6%)となっており、合計すると119人(37.4%)となっている。

問5で「3 体育学・スポーツ科学関係」を選択した回答者の「スポーツ科学部スポーツ科学科」への進学意向は、「進学を希望する」が36人(8.9%)、「進学先として検討する」が115人(28.5%)となっており、合計すると151人(37.5%)となっている。

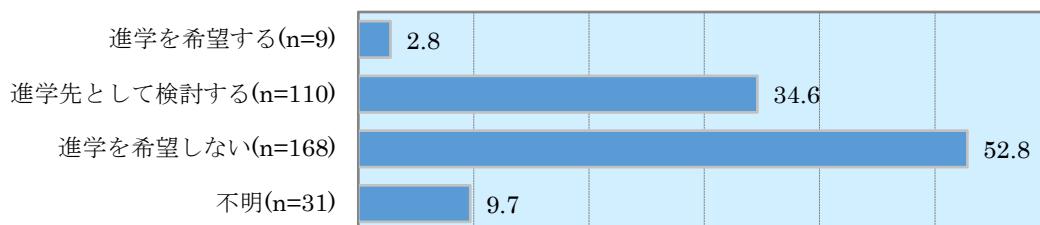
問5で「4 家政学・(栄養、調理を含む)・生活科学関係」を選択した回答者の「栄養学部栄養学科」への進学意向は、「進学を希望する」が18人(9.6%)、「進学先として検討する」が84人(44.7%)となっており、合計すると102人(54.3%)となっている。

No	カテゴリ	上段：件数、下段：(全体)%			
		経済学部 経済学科	経済学部 経営学科	スポーツ科学部 スポーツ科学科	栄養学部 栄養学科
1	進学を希望する	54	9	36	18
		7.2	2.8	8.9	9.6
2	進学先として検討する	236	110	115	84
		31.3	34.6	28.5	44.7
3	進学を希望しない	394	168	200	72
		52.2	52.8	49.6	38.3
	不明	71	31	52	14
		9.4	9.7	12.9	7.4
	合計	755	318	403	188
		100	100	100	100

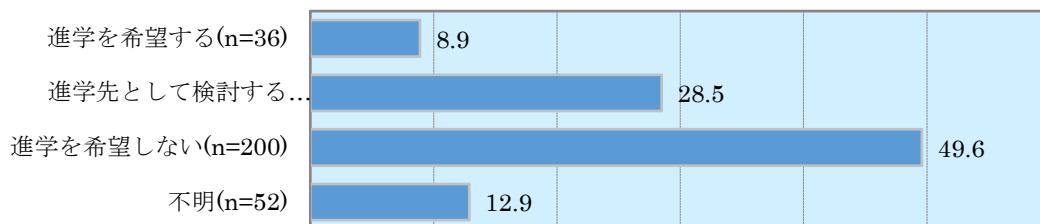
問7-1 経済学部経済学科への進学希望
N = 755



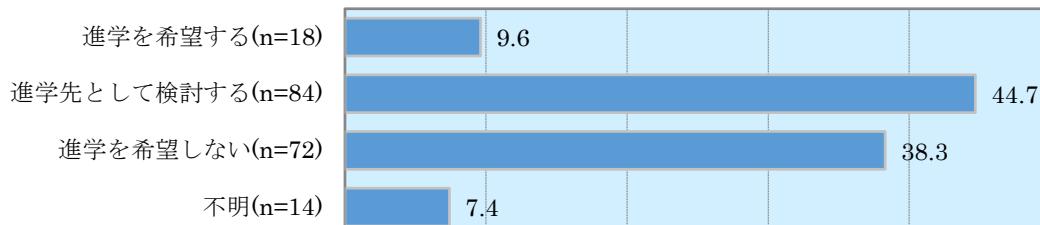
問7-2 経済学部経営学科への進学希望
N = 318



問7-3 スポーツ科学部スポーツ科学科への進学希望
N = 403



問7-4 栄養学部栄養学科への進学希望
N = 188



○男女別クロス集計

問1 性別 × 問2 現住所

	上段:度数	問1 性別			
	下段:%	合計	男性	女性	
問2 現住所	全体	9,490	4,443	5,042	5
		100.0	100.0	100.0	100.0
	石川県	5,103	2,354	2,747	2
		53.8	53.0	54.5	40.0
	富山県	2,522	1,190	1,332	-
		26.6	26.8	26.4	-
	福井県	758	348	410	-
		8.0	7.8	8.1	-
	その他	1,103	550	551	2
		11.6	12.4	10.9	40.0
	不明	4	1	2	1
		-	-	-	20.0

問1 性別×問3 高校卒業後の進路

	上段:度数	問1 性別			
	下段:%	合計	男性	女性	
問3 高校卒業後の進路	全体	9,490	4,443	5,042	5
		100.0	100.0	100.0	100.0
	大学進学	5,992	3,061	2,929	2
		63.1	68.9	58.1	40.0
	短期大学進学	683	105	578	-
		7.2	2.4	11.5	-
	専門学校進学	1,548	500	1,048	-
		16.3	11.3	20.8	-
	就職	1,020	616	403	1
		10.7	13.9	8.0	20.0
	その他	234	160	73	1
		2.5	3.6	1.4	20.0
	不明	13	1	11	1
		0.1	-	0.2	20.0

問1 性別 × 問4 進学先決定の際に重視すること（複数回答）

	上段：度数	問1 性別			
	下段：% 合計	男性	女性	不明	
問4 進学先 決定の際に 重視するこ と（複数回 答）	全体 11,811 100.0	6,016 100.0	5,791 100.0	4 100.0	
	学部・学科の専攻分野 3,936 33.3	1,865 31.0	2,071 35.8	- -	
	学校の所在地（交通の利便の良さ） 1,309 11.1	695 11.6	614 10.6	- -	
	資格を取得できる 1,073 9.1	456 7.6	617 10.7	- -	
	就職実績 845 7.2	474 7.9	371 6.4	- -	
	設置形態（国・公・私立） 630 5.3	289 4.8	341 5.9	- -	
	校舎・施設・設備等の教育研究環境 475 4.0	261 4.3	214 3.7	- -	
	学費（入学金・授業料） 1,472 12.5	735 12.2	737 12.7	- -	
	学校の伝統・知名度 318 2.7	195 3.2	121 2.1	2 50.0	
	入試難易度・入試科目 1,174 9.9	634 10.5	540 9.3	- -	
	周囲の意見 131 1.1	88 1.5	41 0.7	2 50.0	
	クラブ活動・学生生活の充実度 402 3.4	302 5.0	100 1.7	- -	
	その他 16 0.1	7 0.1	9 0.2	- -	
	不明 30 0.3	15 0.2	15 0.3	- -	

(複数回答のため合計=5,992 にならない)

問1 性別 × 問5 進学希望分野

	上段:度数	問1 性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問5 進学希望分野	全体	5,992	3,061	2,929	2
		100.0	100.0	100.0	100.0
経済学関係		755	567	187	1
		12.6	18.5	6.4	50.0
経営学関係		318	187	131	-
		5.3	6.1	4.5	-
体育学・スポーツ科学関係		403	311	92	-
		6.7	10.2	3.1	-
家政学・(栄養、調理を含む)・生活科学関係		188	24	164	-
		3.1	0.8	5.6	-
教育学・保育学関係		548	195	353	-
		9.1	6.4	12.1	-
外国語関係		356	85	270	1
		5.9	2.8	9.2	50.0
文学関係(史学、哲学等を含む)		375	178	197	-
		6.3	5.8	6.7	-
国際関係学関係		174	42	132	-
		2.9	1.4	4.5	-
心理学関係		252	98	154	-
		4.2	3.2	5.3	-
法学・政治学関係		197	113	84	-
		3.3	3.7	2.9	-
社会学・福祉学関係		197	65	132	-
		3.3	2.1	4.5	-
理学・工学関係		968	840	128	-
		16.2	27.4	4.4	-
農林水産学関係		90	48	42	-
		1.5	1.6	1.4	-
医学・歯学・薬学関係		162	75	87	-
		2.7	2.5	3.0	-
看護学・医療技術学関係		624	96	528	-
		10.4	3.1	18.0	-
芸術学関係		219	49	170	-
		3.7	1.6	5.8	-
その他		92	45	47	-
		1.5	1.5	1.6	-
不明		74	43	31	-
		1.2	1.4	1.1	-

問1 性別 × 問6-1 経済学部経済学科への受験希望

	上段:度数	問1 性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問6-1 経済学部経済学科への受験希望	全体	755	567	187	1
		100.0	100.0	100.0	100.0
	受験を希望する	82	70	12	-
		10.9	12.3	6.4	-
	受験先として検討する	249	195	54	-
		33.0	34.4	28.9	-
	受験を希望しない	387	272	114	1
		51.3	48.0	61.0	100.0
	不明	37	30	7	-
		4.9	5.3	3.7	-

問1 性別 × 問6-2 経済学部経営学科への受験希望

	上段:度数	問1 性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問6-2 経済学部経営学科への受験希望	全体	318	187	131	-
		100.0	100.0	100.0	-
	受験を希望する	14	11	3	-
		4.4	5.9	2.3	-
	受験先として検討する	115	71	44	-
		36.2	38.0	33.6	-
	受験を希望しない	173	95	78	-
		54.4	50.8	59.5	-
	不明	16	10	6	-
		5.0	5.3	4.6	-

問1 性別 × 問6-3 生体科学部生体科学科への受験希望

	上段:度数	問1 性別			
	下段:%	合計	男性	女性	不明
問6-3 生体科学部生体科学科への受験希望	全体	403	311	92	-
		100.0	100.0	100.0	-
	受験を希望する	44	36	8	-
		10.9	11.6	8.7	-
	受験先として検討する	123	91	32	-
		30.5	29.3	34.8	-
	受験を希望しない	207	156	51	-
		51.4	50.2	55.4	-
	不明	29	28	1	-
		7.2	9.0	1.1	-

問1 性別 × 問6-4 栄養学部栄養学科への受験希望

	上段:度数 下段:%	問1 性別			
		合計	男性	女性	不明
問6-4 栄養学部栄養学科への受験希望	全体	188	24	164	-
		100.0	100.0	100.0	-
	受験を希望する	21	2	19	-
		11.2	8.3	11.6	-
	受験先として検討する	90	14	76	-
		47.9	58.3	46.3	-
	受験を希望しない	70	6	64	-
		37.2	25.0	39.0	-
	不明	7	2	5	-
		3.7	8.3	3.0	-

問1 性別 × 問7-1 経済学部経済学科への進学希望

	上段:度数 下段:%	問1 性別			
		合計	男性	女性	不明
問7-1 経済学部経済学科への進学希望	全体	755	567	187	1
		100.0	100.0	100.0	100.0
	進学を希望する	54	49	5	-
		7.2	8.6	2.7	-
	進学先として検討する	236	185	51	-
		31.3	32.6	27.3	-
	進学を希望しない	394	276	117	1
		52.2	48.7	62.6	100.0
	不明	71	57	14	-
		9.4	10.1	7.5	-

問1 性別 × 問7-2 経済学部経営学科への進学希望

	上段:度数 下段:%	問1 性別			
		合計	男性	女性	不明
問7-2 経済学部経営学科への進学希望	全体	318	187	131	-
		100.0	100.0	100.0	-
	進学を希望する	9	7	2	-
		2.8	3.7	1.5	-
	進学先として検討する	110	70	40	-
		34.6	37.4	30.5	-
	進学を希望しない	168	91	77	-
		52.8	48.7	58.8	-
	不明	31	19	12	-
		9.7	10.2	9.2	-

問1 性別 × 問7-3 球^モ-ツ科学部球^モ-ツ科学科への進学希望

	上段:度数 下段:%	問1 性別			
		合計	男性	女性	不明
問7-3 球 ^モ -ツ科学部球 ^モ -ツ科学科への進学希望	全体	403	311	92	-
		100.0	100.0	100.0	-
	進学を希望する	36	30	6	-
		8.9	9.6	6.5	-
	進学先として検討する	115	85	30	-
		28.5	27.3	32.6	-
	進学を希望しない	200	150	50	-
		49.6	48.2	54.3	-
	不明	52	46	6	-
		12.9	14.8	6.5	-

問1 性別 × 問7-4 栄養学部栄養学科への進学希望

	上段:度数 下段:%	問1 性別			
		合計	男性	女性	不明
問7-4 栄養学部栄養学科への進学希望	全体	188	24	164	-
		100.0	100.0	100.0	-
	進学を希望する	18	1	17	-
		9.6	4.2	10.4	-
	進学先として検討する	84	15	69	-
		44.7	62.5	42.1	-
	進学を希望しない	72	5	67	-
		38.3	20.8	40.9	-
	不明	14	3	11	-
		7.4	12.5	6.7	-

<アンケート調査票>

<高校2年生対象>

金沢学院大学 収容定員の変更（増加）及び改組に関するアンケート調査票

金沢学院大学では、入学志願倍率の緩和と地域社会で必要とされる人材の育成などの要請に応えるため、下記のとおり収容定員の増加及び改組（学科の設置）を行うこととしました。

このアンケートは、無記名式で、高校生の皆さんのが校卒業後の進路などについてお聞きし、各学科の収容定員の増加及び改組（学科の設置）するための基礎資料とするものです。ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの結果は、コンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用い、外部の人間に見せたりすることはありません。

回答は設問の順に該当する番号を回答欄に直接記入してください。一部の設問では該当する番号に○をつけてください。

また、概要については現在構想中であり、変更される場合があります。

◆収容定員の増加予定学科：

経済学部 経済学科（入学定員 90名）

経営学科（入学定員 90名）

◆改組予定の学科：

スポーツ科学部（仮称） スポーツ科学科（仮称）（入学定員 150名）

栄養学部（仮称） 栄養学科（仮称）（入学定員 80名）

※令和3年4月に、人間健康学部のスポーツ健康学科をスポーツ科学部スポーツ科学科（仮称）に、同学部の健康栄養学科を栄養学部栄養学科（仮称）に改組、設置する計画をしています。

◆収容定員の増加及び改組（学科の設置）予定時期：2021年4月（令和3年4月）

◆収容定員の増加及び改組（学科の設置）予定場所：石川県金沢市末町10

（アクセス）金沢駅からバスで約35分、香林坊からバスで約20分。

-----以下の設問にお答えください（裏面にも設問があります）-----

問1 あなたの性別についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

【回答欄】

- 1 男性
2 女性

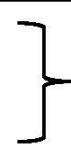
問2 あなたがお住まいの都道府県についておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 石川県
2 富山県
3 福井県
4 その他（具体的に)

問3 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を1つだけ選んでください。

- 1 大学進学 → 問4以降へお進みください。
2 短期大学進学
3 専門学校進学
4 就職
5 その他



これでアンケートは終了です。
ご協力ありがとうございました。

(裏面に続く)

【問3で「1」を選択された方は問4に進んでください。「2, 3, 4, 5」を選択された方は、アンケートは終わりになります。】

問4 あなたが進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。次の中から2つまで選んでください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 学部・学科の専攻分野 | 7 学費（入学金・授業料） |
| 2 校校の所在地（交通の利便の良さ） | 8 学校の伝統・知名度 |
| 3 資格を取得できる | 9 入試難易度・入試科目 |
| 4 就職実績 | 10 周囲の意見 |
| 5 設置形態（国・公・私立） | 11 クラブ活動・学生生活の充実度 |
| 6 校舎・施設・設備等の教育研究環境 | 12 その他（ ） |

問5 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1 経済学関係 | 10 法学・政治学関係 |
| 2 経営学関係 | 11 社会学・福祉学関係 |
| 3 体育学・スポーツ科学関係 | 12 理学・工学関係 |
| 4 家政学（栄養、調理を含む）・生活科学関係 | 13 農林水産学関係 |
| 5 教育学・保育学関係 | 14 医学・歯学・薬学関係 |
| 6 外国語関係 | 15 看護学・医療技術学関係 |
| 7 文学関係（史学、哲学等を含む） | 16 芸術学関係 |
| 8 国際関係学関係 | 17 その他（ ） |
| 9 心理学関係 | |

--

問5において、

- ・「1 経済学関係」「2 経営学関係」「3 体育学・スポーツ科学関係」「4 家政学（栄養、調理を含む）・生活科学関係」のいずれかを選択された方は問6以降へお進みください。
- ・「5～17」を選択された方は、これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問6以降は、金沢学院大学が、収容定員の増加及び改組（学科の設置）を計画している
「経済学部」・「スポーツ科学部（仮称）」・「栄養学部（仮称）」の各学科についておたずねします。
アンケートに同封しているリーフレットをご覧いただきながらご回答ください。

【問6以降は、問5で「1、2、3、4」を選択された方が対象となります。】

問6 あなたは金沢学院大学への受験（一般入試、推薦入試、AO入試、内部進学を含む）を希望しますか。

問5で選択した分野に関する学科について、a～cの中から1つだけ選び、○で囲んでください。

学部学科	受験を希望する	受験先として検討する	受験を希望しない
1 経済学部 経済学科	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c
2 経済学部 経営学科	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c
3 スポーツ科学部（仮称） スポーツ科学科（仮称）	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c
4 栄養学部（仮称） 栄養学科（仮称）	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c

問7 あなたは問5で選択した分野に関する金沢学院大学の学科へ進学を希望しますか。

問5で選択した分野に関する学科について、a～cの中から1つだけ選び、○で囲んでください。

学部学科	進学を希望する	進学先として検討する	進学を希望しない
1 経済学部 経済学科	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c
2 経済学部 経営学科	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c
3 スポーツ科学部（仮称） スポーツ科学科（仮称）	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c
4 栄養学部（仮称） 栄養学科（仮称）	<input type="radio"/> a	<input type="radio"/> b	<input type="radio"/> c

《参考》

◆近隣にある私立大学の学部・学科の学納金

＜令和2年度入学生用としてホームページから抜粋＞

＜経済学部関係＞

所在地	大学	学部	学科	入学金	授業料	施設設備費等	初年度納付金
石川県	金沢星稜大学	経済学部	経済学科 経営学科	120,000	690,000	330,000	1,140,000
石川県	北陸大学	経済経営学部	マネジメント学科	200,000	650,000	300,000	1,150,000
富山県	富山国際大学	現代社会学部	現代社会学科 経営情報専攻	200,000	680,000	300,000	1,180,000

＜スポーツ科学部関係＞

所在地	大学	学部	学科	入学金	授業料	施設設備費等	初年度納付金
石川県	金沢星稜大学	人間科学部	スポーツ学科	120,000	750,000	360,000	1,230,000
福井県	福井工業大学	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	250,000	880,000	370,000	1,500,000

＜栄養学部関係＞

所在地	大学	学部	学科	入学金	授業料	施設設備費等	初年度納付金
福井県	仁愛大学	人間生活学部	健康栄養学科	250,000	800,000	160,000	1,210,000
新潟県	新潟医療福祉大学	健康科学部	健康栄養学科	350,000	1,000,000	500,000	1,850,000

* * * 以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。 * * *

金沢学院大学

2021年4月 新設及び入学定員の増加を計画している学部・学科

(認可申請予定のため変更がある場合があります)

2020年4月新設

経済学部 経済学科

入学定員

80名
↓
90名



データに基づく現状分析から課題解決へ

経済学科では、現在の経済社会の課題を解決する力を身に付けます。経済データの分析方法を習得し、地域経済の課題の所在をシャープに切り出すとともに、根拠に基づいた解決策を提案できる力を養います。経済学科では、公務員や地域の中核的な企業で働く、地域づくりの先導役となる人材を育てます。

2020年4月新設

経済学部 経営学科

入学定員

60名
↓
90名



経営データに基づき意思決定ができる人材を育成

経営学科では、客観的データを基に組織運営の意思決定ができる力を身に付けます。企業の成績表である財務諸表を読み取る力を習得するとともに、地域社会のニーズをくみ取る力を養います。経営学科では、地域経済をけん引する企業の適切なマネジメントを通じて、地域社会に貢献できる人材を育てます。策を提案できる力を養います。

2021年4月設置構想中

スポーツ科学部 スポーツ科学科

入学定員

150名



スポーツ科学理論に基づく実践を通じて人間力を高める

スポーツを通じて豊かな人間性を養いながら、スポーツ科学と健康科学を理論と実践から学び、地域社会に貢献できる「スポーツ」と「健康」のスペシャリストを養成します。育てる人材の大きな柱は「アスリート・指導員」「体育教員」「公安・公務員」「スポーツビジネス」の4つです。

トップクラスの競技選手が集い、最新の設備を整えた恵まれた教育環境の中で、経験豊富な教員が指導します。策を提案できる力を養います。

2021年4月設置構想中

栄養学部 栄養学科

入学定員

80名



知識と技術で健康を支える管理栄養士を育てる

誰もがより長く元気に活躍できる社会を目指し、すべての人びとの人生に管理栄養士は関わっています。少子高齢化に対応する、食育、健康の保持・増進および治療・介護までサポートする食と栄養の専門職（管理栄養士）を養成します。卒業と同時に管理栄養士国家試験の受験資格を得ることができ、豊富な経験と実績を持つ教員による徹底した国家試験対策で、難関といわれる管理栄養士の試験合格を目指します。

【新設及び入学定員の増加を計画している学部・学科の学納金】

経済学部 経済学科・経営学科

納期	入学金	授業料	教育充実費	合計
入学手続時(前期)	200,000円	365,000円	135,000円	700,000円
後期	——	365,000円	135,000円	500,000円
初年度年額	200,000円	730,000円	270,000円	1,200,000円
2～4年次(年額)	——	730,000円	330,000円	1,060,000円

スポーツ科学部 スポーツ科学科

納期	入学金	授業料	教育充実費	合計
入学手続時(前期)	200,000円	385,000円	170,000円	755,000円
後期	——	385,000円	170,000円	555,000円
初年度年額	200,000円	770,000円	340,000円	1,310,000円
2～4年次(年額)	——	770,000円	340,000円	1,110,000円

栄養学部 栄養学科

納期	入学金	授業料	教育充実費	合計
入学手続時(前期)	200,000円	425,000円	215,000円	840,000円
後期	——	425,000円	215,000円	640,000円
初年度年額	200,000円	850,000円	430,000円	1,480,000円
2～4年次(年額)	——	850,000円	430,000円	1,280,000円

本学独自の奨学生 KGスカラシップ制度

Point 1 入学試験の成績から奨学生を選抜! 国公立大学並みの学費を実現!

KGスカラシップ制度対象入試に出願し、入試成績が基準に達した合格者からランク別に奨学生を選抜し、授業料全額(SAランク)や授業料半額(SBランク)、年間20万円(Aランク)の奨学生を給付します。

Point 2 2年次からも新たに奨学生を選抜! SB→SA、A→SBランクUPも!

2年次からでも新たにKGスカラシップ生として奨学生の給付を受けることができる奨学生制度を設けています。前年度の学業成績において優秀な成果を収めた学生に対して、追加認定やランクアップするチャンスもあります。

Point 3 公務員や教員、大手企業を目指すキャリア講座の受講料が減免に!

KGスカラシップ生に認定された学生は「KGC(金沢学院キャリア)講座」や教職センターの教員採用試験対策講座の受講料が免除または減額となります。 [●SA・SBランク(受講料免除)、●Aランク(受講料減額)]

金沢学院大学

■経済学部 ●経済学科 **NEW** ●経営学科 **NEW**

■経済情報学部 ●経済情報学科 **NEW**

■文学部 ●教育学科(2専攻/小学校・中学校教諭、幼稚園教諭・保育士)
●文学科(4専攻/日本文学、英米文学、歴史学、心理学)

■人間健康学部 ●健康栄養学科(石川県内唯一の管理栄養士養成課程)
●スポーツ健康学科(4専攻/アスリート・指導員養成、体育教員養成、
公安・公務員養成、スポーツビジネス)

■芸術学部 ●芸術学科(5専攻/絵画、造形、デザイン、映像、メディア)

金沢学院短期大学

■幼稚教育学科(幼稚園教諭・保育士養成)

■食物栄養学科(栄養士養成、8年連続就職率100%)

■現代教養学科(3コース/公務員・一般事務、
観光・ホテル・ブライダル、ICT・簿記会計)

〒920-1392 金沢市末町10

[受験生専用] フリーダイヤル 0120-367-984

金沢学院大学 検索 www.kanazawa-gu.ac.jp

資料3

地域別入学者数(過去5年間)

地域	県名	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31年	
		志願	入学								
北海道	北海道	1	1	2	2	2	2	2	2	0	0
東北	6県	3	0	2	1	4	4	6	6	6	5
関東	1都7県	9	8	10	10	15	12	7	7	14	14
北信越	新潟県	9	3	6	1	5	2	13	7	9	4
	富山県	30	20	35	19	30	13	40	21	38	17
	石川県	62	36	65	49	87	53	74	56	84	59
	福井県	12	9	6	3	6	5	9	7	10	5
	長野県	8	7	14	9	2	2	10	6	19	10
東海	4県	10	9	10	9	7	5	0	0	4	4
近畿	2府4県	12	12	13	13	16	14	18	16	27	22
中国	5県	2	2	3	2	2	2	3	3	5	5
四国	4県	1	1	1	1	5	4	0	0	3	2
九州	8県	5	4	2	2	4	4	1	1	6	6
その他		0	0	0	0	4	2	0	0	2	0
合計		164	112	169	121	189	124	183	132	227	153

※数値は、志願者および入学者の出身高校所在地に基づく集計結果である。

※区分は以下の通り

東北:青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東:茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

東海:岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿:滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山县

中国:鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国:徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※「その他」は、全国に複数の学修センターを持つ広域通信制高校や

高等学校卒業程度認定試験等を指す。

資料4

北信越におけるスポーツ系学部・学科の入学志願状況

県名	大学名	学部名	学科名		平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
石川県	金沢星稜大学	人間科学部	スポーツ学科	入学定員(人)	60	60	75	75
				志願者(人)	183	209	196	225
				入学者(人)	79	78	75	78
				定員充足率(%)	131.7	130.0	100.0	104.0
福井県	福井工業大学	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	入学定員(人)	70	70	70	70
				志願者(人)	—	174	211	162
				入学者(人)	86	88	85	84
				定員充足率(%)	122.9	125.8	121.5	120.0
長野県	松本大学	人間健康学部	スポーツ健康学科	入学定員(人)	80	80	100	100
				志願者(人)	196	251	210	324
				入学者(人)	103	100	109	124
				定員充足率(%)	128.8	125.0	109.0	124.0
新潟県	新潟医療福祉大学	健康科学部	健康スポーツ学科	入学定員(人)	200	200	200	200
				志願者(人)	—	371	372	413
				入学者(人)	216	219	209	221
				定員充足率(%)	108	109.5	104.5	110.5

資料5

私立大学・短期大学等入学志願動向による全国的な志願者数、入学者数の推移

区分	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
私立大学全体	志願者数（人）	3,464,429	3,513,502	3,629,277	3,882,573	4,158,495	4,425,625
	入学者数（人）	477,631	487,061	488,209	499,678	497,773	500,083
スポーツ科学部	志願者数（人）	11,659	10,778	12,989	13,840	13,412	12,542
	入学者数（人）	1,285	1,263	1,775	1,933	1,906	1,940
スポーツ健康科学部	志願者数（人）	10,270	10,224	10,610	11,199	11,832	12,125
	入学者数（人）	1,299	1,418	1,394	1,635	1,658	1,684
スポーツ健康学部	志願者数（人）	4,410	3,935	—	5,190	5,190	5,226
	入学者数（人）	442	446	—	640	620	634

※日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」主な学部別の志願者・入学者動向（大学）より抜粋。

区分は、医学、歯学、薬学、保健系、理・工学系、農学系、人文科学系、社会科学系、家政学、教育学、体育学、芸術系、その他で分類され、

スポーツ科学部、スポーツ健康科学部、スポーツ健康学部はいずれもその他の分類に含まれている。

資料 6

人間健康学部スポーツ健康学科 最近5カ年の就職状況

卒業年	就職者/ 就職希望者	就職者/ (学生数・進学者)	学生数	就職希望者	就職者	進学者
平成28年3月卒	100.0%	98.9%	94	88	88	5
平成29年3月卒	98.2%	97.4%	117	114	112	2
平成30年3月卒	99.0%	95.1%	105	98	97	3
平成31年3月卒	100.0%	96.8%	100	92	92	5
令和2年3月卒	100.0%	97.3%	114	109	109	2

資料 7

人間健康学部スポーツ健康学科 令和 2 年 3 月卒業生の業種別就職状況

